

Schoo と iU 情報経営イノベーション専門職大学が DX 推進アドバイザー契約締結

情報経営イノベーション専門職大学（東京都墨田区、学長 中村伊知哉。以下、iU。 <https://www.iu.ac.jp/>）と、社会人向けオンライン生放送学習サービス『Schoo（スクー）』を運営する株式会社 Schoo（東京都渋谷区、代表取締役社長 森 健志郎、以下、Schoo）は、2021年1月22日にアドバイザー契約を締結しました。iU 学内のデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）推進を Schoo が専門アドバイザーとして支援してまいります。DX とは、データとテクノロジーを活用して、サービスやビジネスモデル、業務そのものや、組織、プロセスなどを変革し、競争優位性を確立することです。将来的にはこの取り組みでの知見や受講データを元にオンライン学習での効果測定・分析をし、個人の状況に合わせた最適な学習を提案することを目指すため、まずは2021年春頃の実験開始を目標に iU 学内の「ハイフレックス型授業」の実現を共同で進めてまいります。



■ ハイフレックス型授業とは？

ハイフレックス型授業とは、オンラインと対面授業を掛け合わせた「ハイブリッド型授業」の種類の1つで、対面とオンラインで“同時”に授業を行う方法です。教員は教室で授業を行い、学生は自身の置かれた状況に応じて教室で受講するか、オンラインシステムで受講するかを選びます。

オンラインで受講している学生もディスカッションに参加できるようにするなどして、現地との双方向性を保障し、現地で受講している学生と同品質の学習品質を維持します。教員はオンライン・現地の学生どちらにも配慮して授業を進めることが求められるため、難度は高くなります。

ただ、学生にとっては、自身の置かれた状況から「オンラインで受けるか対面で受けるか」を自由に選択することができるので、学習環境の選択の幅が広がり、ひいては自分自身の将来の可能性も広がるとも言えます。対面授業の実施が不可能になった場合にも、完全オンライン授業への移行が容易なことも特徴です。

<参考・引用>

京都大学「ハイフレックス型授業実施のための技術的検討と支援に向けて（中村素典 / 京都大学 情報環境機構）」
https://www.nii.ac.jp/event/upload/20200911-09_Nakamura.pdf

京都大学 CONNECT より「ハイブリッド型授業とは」

<https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/connect/teachingonline/hybrid.php>

■ Schoo との取り組みの背景

iU では正規授業前のプレ授業から前期のすべての科目でオンライン授業を実施。2020 年度後期には、各科目ごとにオンラインと対面のいずれかの方式で授業を行い、かつオンデマンド型（インターネット上で資料や動画などの教材を学生に配布し、学生は時間・場所を選ばず自由にアクセスし学習する方法）は実施せず、全てリアルタイムで授業を行なってまいりました。

2021 年度は、オンライン授業でも教員と学生、学生同士の議論・対話を増やし、より質の良い学習体験のできる環境を提供するため、Schoo 様のこれまでの知見を生かしてハイフレックス型授業を含む、学内の DX を推進していきます。

■ 今回の取り組みに関するコメント

● 株式会社 Schoo 代表取締役社長 CEO 森 健志郎（もり・けんしろう）



複数の都道府県で緊急事態宣言が再び出ている影響で、再び先のわからない不安な日常が訪れています。そのような状況の中で、高等教育機関でも一時的な対応としての授業のオンライン化だけでなく、その更にもっと先を見据えた攻めの姿勢での DX 推進が必要であると考えています。これまで弊社が培ってきた知見をもとに、アフターコロナの世界での基盤となるような、オンラインだからこそ成し得る質の高い学習機会の提供を目指してまいります。

● iU 情報経営イノベーション専門職大学 副学長 古賀 稔邦（こが・としくに）



昨年多くの教育機関で始まった遠隔による授業展開は、単にオンライン会議システムを活用したものから、教育のデジタル化により一層進化していくものと考えられます。この度の Schoo 様との連携による「ハイフレックス型授業」の開発は、その好事例になると確信しております。本学の教育理念「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」に、相応しい先進的な教育形態を今後も開発し続け、教育のイノベーションを図って参る所存です。

■ Schoo DX 事業について

2014 年以降、15 大学と提携*し、大学教育におけるオンライン活用について様々な実証実験の実施や DX 支援、2020 年 3 月に設置した「大学授業のオンライン化相談窓口」を通して 10 以上の大学のオンライン化を支援。2020 年 12 月より、正式に教育機関に特化したデジタルトランスフォーメーション支援サービスを発表されています**。

*東京大学、法政大学、関西学院大学、東海大学、中央大学、京都造形芸術大学、京都工芸繊維大学、聖学院大学、早稲田大学、熊本学園大学、八洲学園大学、東京未来大学、國學院大学、福岡大学。参照：未来の日本をつくる取り組み <http://corp.schoo.jp/creation/> ** 2020 年 12 月 1 日プレスリリース「大学・専門学校・社会人教育事業者に特化した DX 推進サービス 12 月 1 日(火)より第一弾 提供開始」http://corp.schoo.jp/2020/12/1201_press/

■ 株式会社 Schoo について

大人たちがずっと学び続けるオンライン生放送学習コミュニティ『Schoo(スクー)』を運営。2012 年のサービス開始後、生放送授業を毎日無料提供。授業ジャンルは、すぐに使えるビジネススキル・プログラミング・経済・デザイン・思考法・文章術や働き方・お金・健康まで幅広く制作。過去の放送は録画授業とし約 6,000 本公開中。生放送は無料、録画授業は見放題プラン「プレミアムサービス（980 円／月、iOS 及び Android アプリ 1,080 円／月）」がある。会員数は約 51 万人を突破（2020 年 9 月末時点）。ビジネスプラン導入企業は累計約 1,500 社（2020 年 9 月末時点）。「世の中から卒業をなくす」をミッションに掲げ、オンラインで学校を再発明すべく地方自治体や大学・教育機関との連携を強めている。

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

■学長



中村伊知哉（なかむらいちや）

<職歴>

- 1984年、ロックバンド少年ナイフのディレクターを経て旧郵政省入省
- 1998年、MITメディアラボ客員教授
- 2002年、スタンフォード日本センター研究所長
- 2006年、慶應義塾大学大学院教授
- 2020年4月より、iU学長に就任

■設置概要

- ・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13
- ・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

- ・学生数：1期生230名
- ・専任教員数：28名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■基本構想

ICT×ビジネス×グローバルコミュニケーション + 全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・ICT教育：電子学園が積み上げた基盤により、プログラミング・AI・ビッグデータなど、幅広いICTスキル教育を展開
- ・ビジネス創造教育：実務家教員によるビジネススキル教育を実施、ビジネス教養、ビジネスプラン策定力などを身につける
- ・使える英語・グローバル教育：国際舞台で仕事をするために必要な英語力を磨く教育と留学生の受け入れにより国際性も強化
- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：希望者全員に対し、在学中に起業にチャレンジできるサポート体制
- ・オンラインを活用した授業サポート：『いつでもどこからでも学ぶことができる』をキーワードに、自ら積極的に学ぶための環境の充実

■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL：03-5655-1555 E-mail：info@i-u.ac.jp